



2015年7月16日

羽田空港へのアクセスがもっと快適

車両デザインリニューアルを実施します！

2015年7月18日より運行開始予定

東京モノレール株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：細川 明良）では、羽田空港をご利用のお客さまの快適性向上を図るため、現在運行中の車両「2000形」1編成（6両）2015年7月18日（土）よりデザインを一新して運行します。

また、その他の車両（「2000形」、「1000形」）についても、順次デザインリニューアルをする予定です。

■リニューアル経緯

昨年、開業50周年を迎えるにあたり、過去に活躍していた100形、500形、さらに1000形旧塗装を再現した車両を「ヒストリートレイン」と称して運用し、これまでの50年を振り返るとともに、新型車両10000形を導入しました。今回の「2000形」についても、新たな50年のスタートとして、デザインをリニューアルし、さらなるサービス向上に取り組みました。



■デザインコンセプト

「最も空に近い、特別な乗り物」

■デザインの内容

・車体外装部分（エクステリアデザイン）

沿線の特徴である豊かな緑をイメージしたグリーン、空と水をイメージしたスカイブルーとブルーを採用。また、白い車体のアクセントカラーとしてブロック状に配置することで、独自性の高いデザインとし、ホームでお待ちのお客さまが新しいデザインの車両だとはつきりわかるように、配慮したデザインとなっています。

・車体内装部分（インテリアデザイン）

新型車両10000形のイメージを踏襲し、座席の生地にも同じものを使用しています。また、床は座席の生地の色に相性の良いブルー、グリーン系の色が入った暗めの色合いを採用し、現状のイメージを一新するデザインとなっています。そのほか、乗降口端部等には、周囲の床の色とのコントラストを確保し、容易に識別できる敷物を貼っています。優先席の座席の生地の色を一般席の青系と異なる萌黄色とするなど、ユニバーサルデザインにも配慮した車両デザインとなっています。



■デザイン一覧

- ・車体外装部分（エクステリアデザイン）



＜沿線の豊かな緑のグリーンと
空と水をイメージしたスカイブルーとブルー＞

- ・車体内装部分（インテリアデザイン）



座席の色も外装に合わせ、
床の色で一層映えるデザイン

座席には、波をイメージした「青海波
（せいがいは）」の模様を採用

以上